

市政  
報告会



田中市議は、定期的に市政報告会を開き市議会の様子、市長の政治姿勢、議会での質問などをお知らせしてきました。参加者の中から、くらし・介護などの要望がたくさん出され、「市議会が身近になった」という感想も寄せられました。

生活  
相談

3年間で250件



生活相談を始めてから10年。施設での経験を生かし、市民に寄り添ってきました。市議になってからの相談は250件超になります。環境問題、生活保護、介護、雇用等々、各分野にわたり、これからも真摯に市民に寄り添いくらしやすい札幌をめざします。



プロフィール

1972年青森市生まれ・北海道医療大学臨床心理学専攻卒業・モンタナ州立大学人文学部心理学科留学・吉田学園医療福祉専門学校卒業・精神保健福祉士として障がい者を支援する会に勤務・2015年札幌市議会議員初当選・家族・妻一男一女

田中啓介さんと  
いっしょにがんばります



紙 智子  
参議院議員



島山 和也  
前衆議院議員

多田 泰子  
(元保育園園長・西区在住)

田中啓介さんを  
推薦します

田中市議は西区にとつて貴重な宝物的存在です。人々との対話を重視して要求や不都合な問題をとりあげて議会に提起しています。障がい児・者の専門家として精通されている事も心強いことです。

福祉・くらし・子育て  
最優先の市政を！

札幌市議会議員

田中啓介

学生時代、精神病院で実習したとき、障がいを持っているだけで偏見、差別をうけ人間らしく生きたいと願う人びとに接し「少しでも役に立ちたい」という思いが精神保健福祉士として働くきっかけになりました。子どもや高齢者、障がいのある方々など弱い立場の人たちの願い実現を目指して議員としてこの3年間、みなさんの声を市政に届けてきました。市民一人ひとりの願いや思いに寄り添い誰もが安心してくらす街づくりに力を尽くします。

●発行：日本共産党札幌西・手稲地区委員会  
TEL:664-5181 FAX:664-5585

西区民報 2018年号外

日本共産党札幌西・手稲地区委員会は、田中啓介市議の経歴と政策を発表しましたのでお知らせします。



# 市民に寄り添い いつも全力で 誰もが安心してくらせる街づくりを

## 教育・子育て

### 就学援助金の入学準備金

#### —3月支給実現

日本共産党の粘り強い追及と市民の運動が市政を動かし、ついに2017年から中学生の入学準備金の3月支給、2019年3月からは小学校入学前支給が実現しました。



### 保育所を増やし、待機児童をゼロに

待機児童問題の解消を優先させ保育の質の低下があってはなりません。認可保育所の整備を最優先に進めていくよう追及しました。

### 保育料の負担増に父母たちから悲鳴、「要望書」提出

子ども・子育て支援新制度により保育料が大幅に値上げされました。秋元市長に、保育料負担増の見直し、市独自の支援策を講じるよう要望書を提出しました。

### すべての子どもたちに給食費・医療費の無償化を

子ども医療費無料化制度は、早期発見・早期治療で、重症化を防ぐうえでも必要です。また、小中学校の給食費は無償化します。

### 小中学校の統合計画は撤回し、地域での議論を

「市立小中学校の学校規模の適正化に関する基本方針」は撤回し、子どもや父母に寄り添って地域での議論をすすめます。



## 市民のくらし

### パートナーシップ除排雪の町内会負担をなくし、市の責任で行う

高齢化でますます大変となる除排雪問題を見据え、当面はパートナーシップ除排雪を年2回に増やすなど、財政支援の拡大を訴えました。

### ゴミステーションの設置・改修に助成拡大を

箱型ゴミステーション設置への助成は日本共産党市議団が求め、2009年から実施されていますが、修繕や「折りたたみ式」も助成対象になっていることを周知し、戸建住宅地の環境改善を図るよう求めました。

### 市民のニーズにこたえて、市営住宅の増設を

札幌市の市営住宅の平均応募倍率は政令市で最高。計画的に市営住宅の建設をすすめ、安心してくらせる街づくりをすすめます。



### 都心アクセス道路は中止し、その予算をくらし・福祉に回せ

不必要で危険な都心アクセス道路は中止します。生活道路の整備、除排雪を抜本的に改善します。

## 医療・福祉

### 高い「国保料」の引き下げ迫る

「国保料」が高く負担が重い。「国保料」引き下げは全市民的な課題です。日本共産党は議会で繰り返し求めてきました。



### 「敬老パス」タクシーにも！利用できるように

高齢者の外出支援として「敬老パス」は大きな役割を担っています。通院・買い物に「敬老パス」のタクシー利用ができるよう支援の拡大を求めていきます。

### 運賃割引制度—精神障がい者も対象に

日本共産党は、障がい者の運賃割引制度（市電・バス・地下鉄）を「精神障がい者も対象とすべき」と長年繰り返し求めてきました。2019年4月から精神障がい者も地下鉄・市電を半額運賃で利用できることになりました。JR・バス（事業）にも対象になるよう求めていきます。

### 「IC タグレコーダー」視覚障がい者の願いかなう

「IC タグレコーダー」は視覚障がい者が自立した生活を送る上で不可欠。日本共産党が長年求め、実現しました。